

バブル景気の兆しが見え始めた70年代後半に、福岡市のほぼ中央に位置する「西公園」で1台のトラックがホットドッグの販売をスタートさせた。それが今や全国的にも有名となったハンバーガーの店『今屋』。現在、県内はもちろん県外や海外からも多くの人々が訪れるこの店は、今に至るまでにどんな軌跡を辿ったのだろうか。

特集 モグモグ アチアチ、ハンバーガーの旅 作り続けて40年、その味は進化し続ける

福岡を代表する風致公園・西公園で40年以上営業を続ける『今屋』。この小さなハンバーガーショップが激動の時代を乗り越えた理由とは。



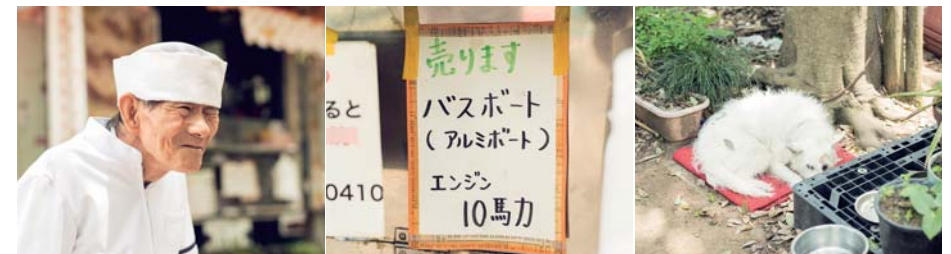
友人の勧めがきっかけで 車内販売を始めることに

今や西公園の名物となった『今屋』がいつ頃からあるのか。
そんな素朴な疑問から、店主・今崎さんの人柄を切り取る。

福

岡空港からアクセスが良ければ20分弱で行くことができる西公園は、黒田長政の福岡移封と同時に東照権現を守護神とした霊山だった由緒ある場所。また福岡県内で唯一「日本さくら名所100選」に選出されている風致公園で、敷地内には約1300本の桜が植樹されている。そんな福岡を代表する公園の中にあるのが『今屋』だ。他のエリアから来た人から見ると少し場違いな印象があるかもしれないが、近隣に住む人にとっては西公園の今屋こそが日常となっている。その理由は、今屋が40年以上この場所で福岡人の胃袋をつかんでいるから。

「ここを始めるまでは実家の鉄工所を手伝っていたんですが、ある時ここでホットドッグを販売していた友人から、当時彼が使っていたライトバンを譲るからここで同じようにホットドッグを販売しないかと誘われたんです。それがきっかけで今まで続いていますね」と今崎さんは事も無げに話す。当時今崎さんが販売していたのは、ハンバーガーではなかった。「最初はハムに近い加工肉を揚げて、それをパンに挟んで売っていました。当時は今のように入らずにファストフードのチェーン店はありませんでしたから、カップルを中心に多くの人がそれを買って来ましたよ。お昼前からお客様が来て夜中まで途切れませんが、20年ぐらい経った頃から全く売れなくなりました」と今崎さんは当時を振り返る。



背中は曲がっているが、72歳とは思えないほど元気な今崎さん。
販売車にはハンバーガーのほか「バスボート売ります」という看板も。

紆余曲折してたどり着いたハンバーガー

売れなくなった時、今崎さんは諦めずに売れるものを考えた。
彼が試行錯誤した結果、名物・ハンバーガーが誕生する。

時

代の流れと共に人の味覚も変わり、ホットドッグも徐々に売れなくなってしまったのだとか。しかし今崎さんは諦めなかった。

「ホットドッグが売れなくなったので、自分もハンバーガーを作らないといけないと思ったんです。このハンバーガーを作った事でお客さんもまた来てくれるようになりまし」と今崎さんは話す。中でも今崎さんの工夫は野菜だった。

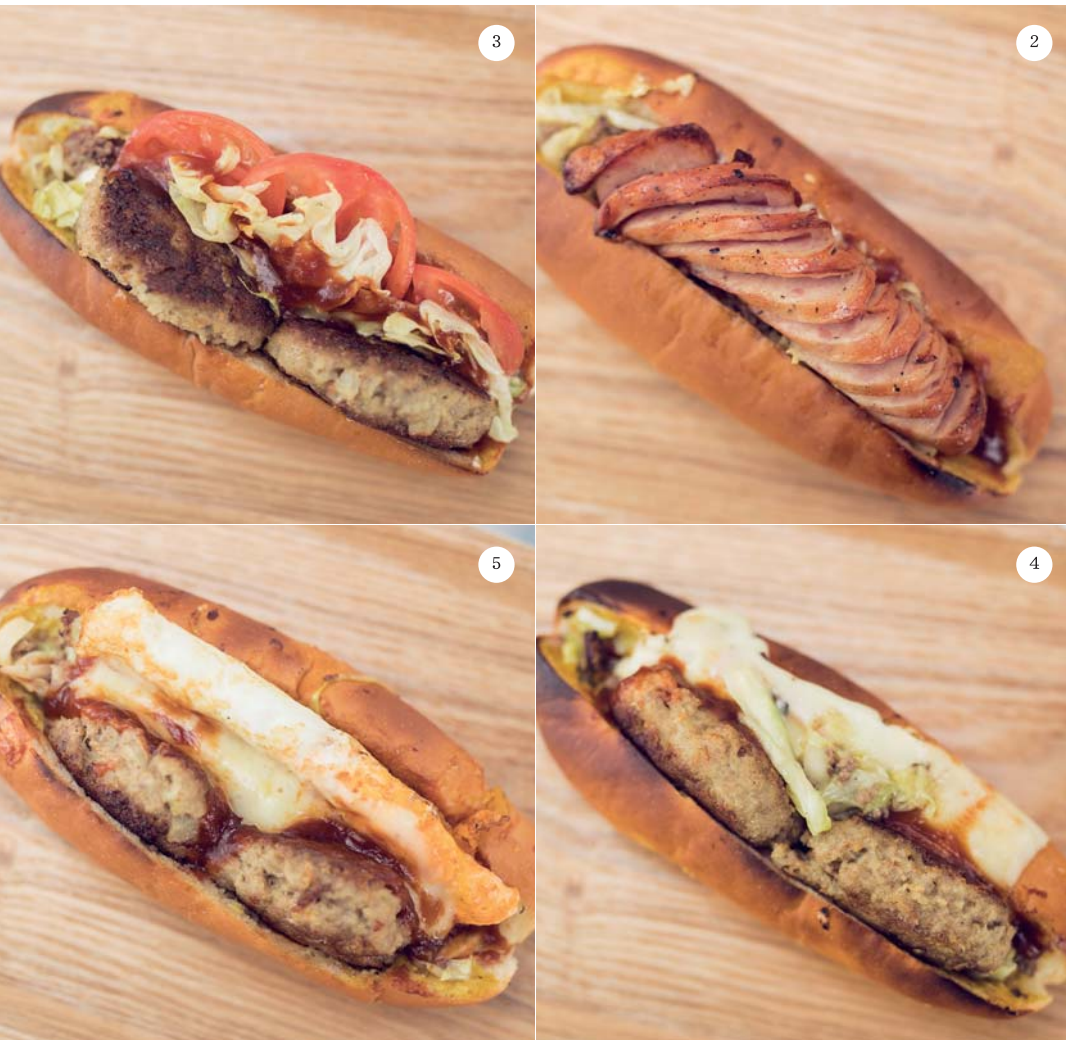
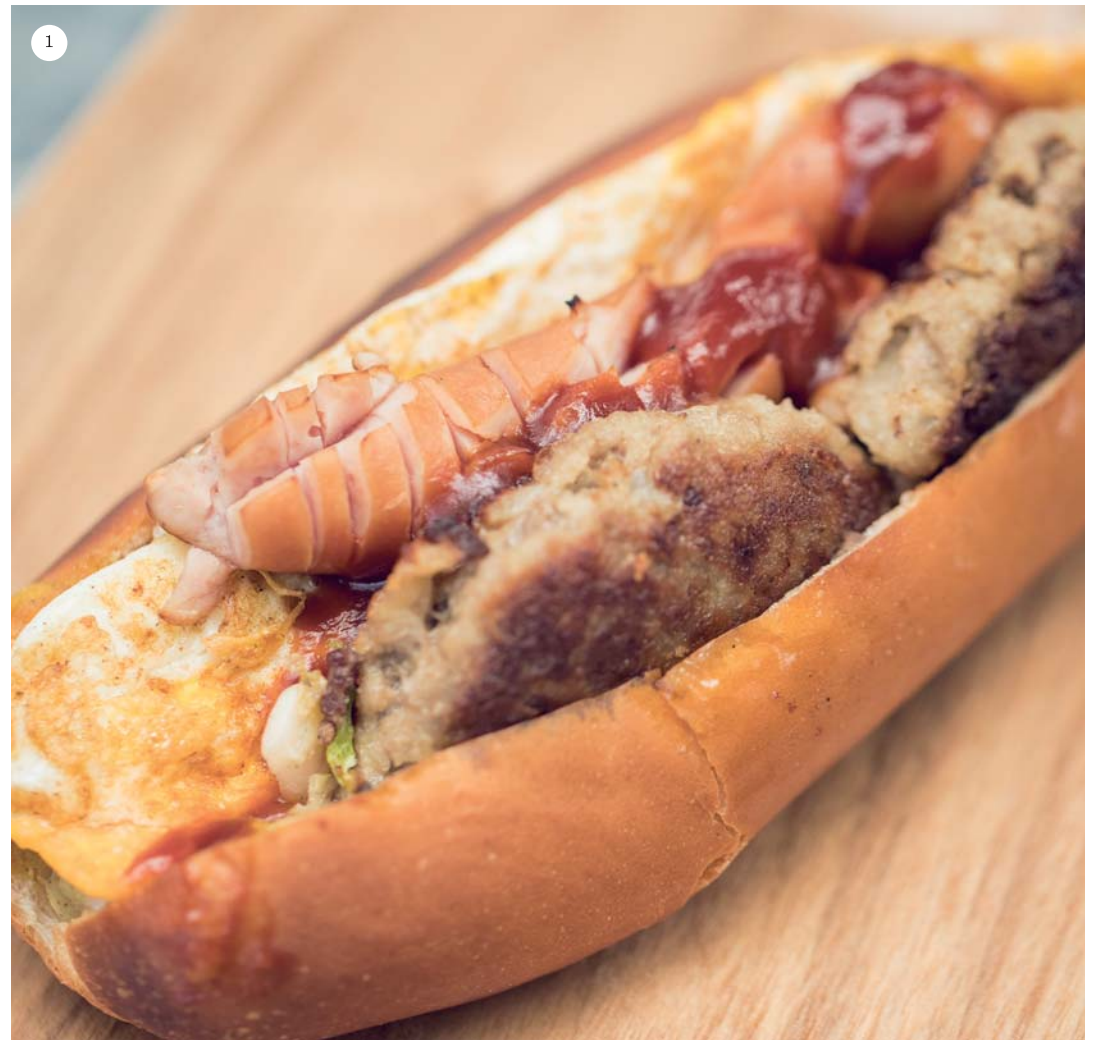
「普通、ハンバーガーといえば生野菜を挟んでいるでしょ。でも私はキャベツを挽き肉と炒めてきちんと味をつけたんです。それが人気になったみたいですね。(ハンバーガーの)中が熱いので、冬場でもけっこう売れるんですよ。逆に夏場は暑すぎて売上は落ちますが」と今崎さん。彼の飽くなき探究心が、全国的にも有名となる「今屋のハンバーガー」を誕生させたのだ。

販売車の中で作業する今崎さんの手際の良さには驚かされる。パンを切るタイミンやパティの焼き方、卵を割る動きなど、どこにもムダがない。お客さんがいない時は5分とかからずハンバーガーは完成する。そんな今崎さんがこだわるのは手づくりであること。

「私は出来合いのものを使うのが苦手なんです。だからハンバーガーのお肉は家で仕込んでいます。ソーセージとパンは作れませんが、きちんと選んで仕入れてますね。パンはここを始めた時から『唐人ベーカリー』さんのを使っています。ここが一番合うんですよ」と話す今崎さんは、今でも他のハンバーガーショップに行き、味の研究をしているのだとか。

その日の天候や気温によってパティの味やソースの味を変えているのだそう。その甲斐もあり、同じ人が同じ日に2度買いに来た事もあるのだとか。その日の出来が今までが一番良かったらしい。そんな今崎さんでも、ハンバーガーに飽きる事があるのだとか。そんな時は味見を野菜中心に行い、味を整えている。





アツアツ、ふわふわのハンバーガー

有名プロガーも太鼓判を押す、ホットドッグ型ハンバーガー。

今 屋のハンバーガーは、まず見た目が特徴的。二枚のパンで上下を挟むハンバーガーが一般的だが、ここはホットドッグ型になっている。今崎さん曰く、公園で手軽に食べるならこの形がベストなんだとか。そして熱々のキャベツと焼きたてのパンティがベストマッチ。前日に仕込まれるパンティは注文されてから焼くので、アツアツでふわふわ。挽き肉と炒めた少しスパイシーなキャベツが甘みのあるパンとパンティのアクセントになり、どんどん食べ進めてしまう。取材中、「県外で働いている息子が帰省して、まずこのハンバーガーが食べたかった」と言っているのが面白いにきました」という方に出会ったが、その気持ちが良くわかる。一度食べたなら忘れられないあのふわふわ食感と中毒性のある刺激的なパンティとキャベツの味わいは、毎日でも食べたい。特に人気は、パンティとソーセージと卵が一体となる「ミックス・エッグ」だ。

- [1] ミックス・エッグ / 450円
ふわふわのパンティに卵とソーセージを合わせたボリューム満点のハンバーガー。人気プロガーからも高評価を得た一品。
- [2] フランクドッグ / 400円
パンからはみ出るほどの極大フランクを使ったこの商品は、ミックス・エッグに並ぶ人気メニュー。キャベツとの相性も抜群だ。
- [3] トマトレタスバーガー / 400円
レタスのシャッキリとした食感とパンティのふわふわ感が絶妙なハーモニーを生み出すハンバーガー。トマトの酸味もアクセントに。
- [4] チーズバーガー / 400円
濃厚なチーズがほんのり甘いパンティに絡む定番メニュー。酸味と甘みのバランスがちょうど良いソースともマッチしている。
- [5] エッグバーガーチーズ / 450円
濃厚でボリュームミーなチーズバーガーに卵を加えた食べ応えバツグンの商品。ガツンと胃を刺激する重量級ハンバーガー。



本日も、いつもの場所で開店中

西公園に行けばこの味に会える。その安心感も『今屋』の魅力。

晴 来ていけば開けている、そんな安心感も今屋の魅力の一つ。今崎さんはこう話す。

「雨が降らない日はだいたい開けてますよ。だってせっかく（お客さんが）来てくれるのにもったいないでしょ。雨の日はこまごまないからね。でも土日や祝日は雨でも開けますよ。わざわざ来る人もいますから。閉めていたらせっかく来た人に申し訳ないです」。こういった今崎さんの優しさも人を寄せ付ける要因になっているのかもしれない。

西公園の中央展望広場に行けば今屋はすぐ見つかる。オレンジのヒサシとベンチ、そしてそのベンチで気持ち良さそうに昼寝をしているネコが目印。ネコたちは今崎さんが飼っているわけではないが、今崎さんのことを主人のように思っている。「私が飼っていると思うている人も多いいみたいですが、そんな事ないんですよ。知らないうちに集まってきてここで寝ているんです。まあネコもイヌも鳥も好きだから良いんですけどね」と今崎さんは優しい顔で話す。今崎さんは毎日店を開けているから40年以上旅行に

行ったこともないそうだ。

「店を」開けない日も仕込みや仕入れがありますから、休めないですね」と今崎さん。そんな彼の趣味は釣り。最近では忙しくてなかなか行けないそうだが、幼少の頃からしている釣りに時間は空けば今も行っているらしい。

自宅の電気が止められるほど売れない時代も、メニューを開発しボリュームを検討する事で乗り切った今崎さん。彼は今後ののくらしい今屋を続けていくのだろう。

「もう背中が曲がって歯の治療もしなければいけません、お客さんが頑張ってくれているので、後15年・20年は続けたいですね」と今崎さんは元気に答えてくれた。そして40年以上この仕事を続けてきた中で一番楽しいと感じる瞬間はという質問には、「味見をして今日の美味しいと感じる時です」と即答。それは美味しいハンバーガーを未だ追求する今崎さんらしい答えだった。そんな瞬間に期待しながら今崎さんは、今日もいつもの場所でハンバーガーを作っているだろう。

今回の旅のメモ。

今回の旅で訪れたのはこちらです。

profile

今屋

博多湾を見下ろす西公園中央展望広場で、40年以上続く知る人ぞ知る名店。この絶品ハンバーガーを求めて、福岡県外だけでなく最近では海外からも多くの人が訪れるのだそう。ハンバーガーに対する店主のこだわりも強く、パンに挟むパティはもちろんキャベツにもひと手間加えられている。またハンバーガーに合わせるソースも独自の調合で、天候や気温によっても変えるのだとか。店主は、今後15年ぐらいはここでハンバーガーを楽しんでもらいたいと話す。そんな茶目っ気たっぷりの店主に会いたくて、ここの常連になる人も少なくない。

福岡県福岡市中央区西公園13 中央展望広場

☎092-733-0410

11:00ごろ～19:00 ※無くなり次第終了 / 雨天休



access

今屋
まで

[公共交通機関で]・・・福岡空港から市営地下鉄空港線で大濠公園駅へ。2番出口から北へ、港町交差点から1つ目の交差点を左折、3つ目の交差点を右折。西公園敷地内を案内に従い、中央展望広場へ。

[車で]・・・・・・・・・・・・福岡空港から国道3号線を経由し福岡都市高速環状線へ。都市高速1号線西公園ランプで下車し、福浜団地入口交差点を左折、当仁小学校前交差点を左折、西公園下交差点を左折。約20分

more information

今屋に関わるあれこれ

park



西公園

福岡市のほぼ中央に位置するこの公園は、「荒津山」と呼ばれていた。面積約17万平方メートルの丘陵地で、福岡市内や博多湾、志賀島などが一望できる。

福岡県福岡市中央区西公園13
<http://www.nishikouen.jp>

shop



唐人町ポエム本店

今年で創業70年を迎える福岡の老舗ベーカリー「唐人ベーカリー」の直営店。今屋の店主も絶賛するこちらのパンは、長年地域の人に愛されたとこ懐かしい味わいが特徴。店内は終日多くの人で賑わう。

福岡市中央区唐人町1-10-1
☎092-761-0751 [時間] 7:30～20:00
<http://tojinbakery.co.jp>